



ABEST21 e-News

No.109, June-August 2020

ABEST21 International

THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND SCHOLARSHIP FOR TOMORROW,
a 21st century organization

TEL. +81-3-3498-6220

FAX. +81-3-3498-6221

Editor: ITOH Fumio

Due to the spread of the COVID-19 pandemic, we have conducted all meetings online for avoiding the so-called "Three Cs" -- Closed places with poor ventilation, Crowded places and conversations in Close proximity."

ABEST21 Office Report

=====

6月

- ・ 04日：2020年度受審校に対する online Accreditation Seminar II の開催
- ・ 16日：Institut Teknologi Bandung (Indonesia) に対する online Accreditation Seminar の実施
- ・ 18日：Universitas Jendal Soedirman (Indonesia) に対する online Accreditation Seminar の実施
- ・ 22日：Universitas Jendal Soedirman (Indonesia) に対する online Accreditation Seminar の実施
- ・ 30日：PPM School of Management (Indonesia) に対する online Accreditation Seminar の実施

7月

- ・ 04日：The 2nd Research Project-8 "Humanizing" online meeting の開催
- ・ 15日：早稲田大学ビジネススクールに認証評価証等の授与
- ・ 16日：外国郵便事情の回復により認証校に対する認証評価証等の発送完了
- ・ 16日：京都大学経営管理大学院に対する online Accreditation Seminar の実施
- ・ 20日：Universitas Islam Sultan Agung (Indonesia) に対する online Accreditation Seminar の実施
- ・ 21日：Management and Science University (Malaysia) に対する online Accreditation Seminar の実施
- ・ 27日：Universitas Udayana (Indonesia) に対する online Accreditation Seminar の実施

8月

- ・ 03日：PRT Group-A に対する online PRV Training Seminar の実施
- ・ 04日：PRT Group-B に対する online PRV Training Seminar の実施
- ・ 05日：PRT Group-C に対する online PRV Training Seminar の実施
- ・ 06日：PRT Group-D に対する online PRV Training Seminar の実施
- ・ 07日：PRT Group-E に対する online PRV Training Seminar の実施
- ・ 11日：PRT Group-F に対する online PRV Training Seminar の実施
- ・ 12日：PRT Group-G に対する online PRV Training Seminar の実施
- ・ 15日：The 3rd Research Project-8 "Humanizing" online meeting の開催

- ・ 28 日: Universitas Kristen Satya Wacana (Indonesia)に対する online PRV の実施
- ・ 28 日: Management & Science University (Malaysia) に対する online PRV の実施
- ・ 29 日: Management & Science University (Malaysia) に対する online PRV の実施
- ・ 31 日: Universitas Bengkulu (Indonesia) に対する online PRV の実施

9 月

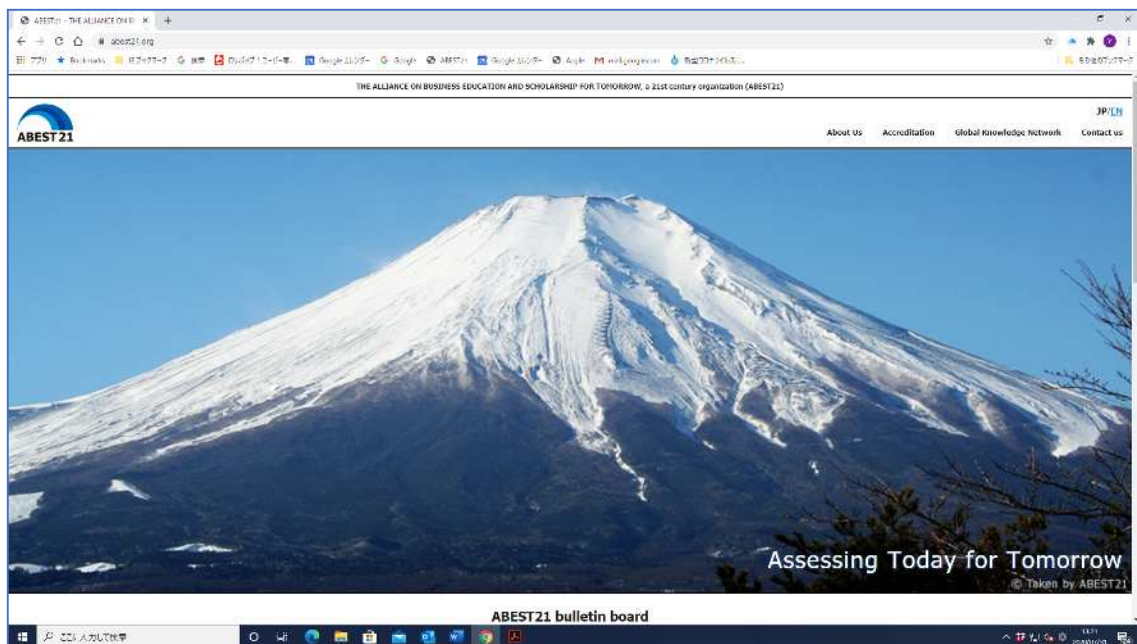
- ・ 01 日: Universitas Bengkulu (Indonesia) に対する online PRV の実施
- ・ 02 日: Universitas Islamic Indonesia (Indonesia) に対する online PRV の実施
- ・ 03 日: Universitas Islamic Indonesia (Indonesia) に対する online PRV の実施
- ・ 07 日: Universitas Jenderal Soedirman (Indonesia) に対する online PRV の実施
- ・ 08 日: Universitas Jenderal Soedirman (Indonesia) に対する online PRV の実施

I. General Information

1. ABEST21 Homepage のリニューアルについて

この度、ABEST21 のホームページがリニューアルされました。今回のリニューアルでは、これまでのすべての掲載情報を整理統合し、下記の3点に絞って整理しました。特に、トップページにつきましては、ABEST21 の認証評価に対するイメージを“Assesing Today for Tomorrow”に求め、コロナ禍等の環境変化に対して粛々とこれまでの方針で認証評価活動を継続していくために、霊峰富士（ABEST21 撮影）をナビゲーションページとして、われわれの最新の認証評価活動の状況を紹介していくことにいたしました。そのために「掲示板」を設けて最新情報を提供し、また会員に「教育の質維持向上」を図る機会提供のための「会員専用ページ」を設けました。まずは英語ページからリニューアルをいたしました。

- 1) 「ABEST21 掲示板」の設置
- 2) 「会員専用ページ」の設置
- 3) 掲載情報項目の整理統合



II. Quality Assurance: “Assessing Today for Tomorrow”

1. Quality Assurance Note-No. 43: オンライン授業の質保証について

新型コロナウイルス禍の影響で、大学の授業方法に特に大きな影響が出ていることは周知の事実である。この度、2020年7月29日（水）及び8月24日（月）の「朝日新聞」に、朝日新聞・河合塾共同調査による「ひらく日本の大学」の調査結果が掲載された。この調査は日本の国公立の768大学を対象に行われたもので、652大学（85%）から回答を得た調査結果であった。特に、新型コロナの影響が大きい項目は、82%の大学がオンライン授業の導入など「授業の実施方法」についての回答であったと報告している。調査ではその実施にどのような課題があったかを示し、また各大学のこれらの課題に対する取組を紹介している。

ここでの問題はこの教育研究環境の変化を大学の発展の「機会(Opportunity)」として捉えていくのか、教育システムの「脅威(Threat)」と捉えていくかによって課題解決の方向性が異なってくる。それはこの環境変化が大学の「ありたい姿」から「あるべき姿」への展開を追い求めていく道筋を検討する機会を与えてきているからである。それは目先の問題解決に終始するのか、それとも将来を展望して大学改革を進めていく方策を探求していくのかの視点の角度によって求める解決策が異なってくる。いずれにせよ教育システムの再構築を検討するよい機会であることには間違いない。

大学は教育システムのインプットにおいて入学する学生に対して「教育研究上の目的 (Mission Statement)」の実現を約束し、その教育システムのアウトプットとして当該教育課程で身に付けられる「学修成果 (Learning Outcome)」を保証している。教育課程においては、各授業科目の「シラバス」において当該学科目の履修により得られる「達成目標」を約束している。従って、大学がこの「新型コロナウイルス禍」の環境変化において、「教育研究上の目的」をどのようにして達成していくのか、「学修成果」を社会にどのように保証していくのか、また、シラバスで約束している「達成目標」を学生にどのように保証していくのか、教育システムの再構築においてこれらの「教育の質保証」を担保していくシステムの構築が求められてくる。

教育システムの再構築に際しては、この環境変化は大学に大学改革の「機会」を与え、教育機会の多様化とグローバル化を推進していく機会であるかもしれない。オンライン授業の導入は「時間」と「空間」とを超越した授業を可能にするものであり、教育機会の拡大に寄与し、学生の多様化を促してくる。また、その教育は国境を越えて行うことも可能であり、教育のグローバル化にも連携してくる。それは、1992年に米国・ピッツバーグ市に位置するカーネギーメロン大学との間で online, real time, teleconferencing system で実施した「グローバル・クラスルーム」がその証明をしている。しかし、すべての学科目がオンラインで授業されることは不可能であり、オンライン授業に向き不向きのある授業科目がある。従って、問題はオンライン授業とオフライン授業をどう組み合わせしていくか、授業方法の最適な組合せ (mix) が求められてくる。

それは、これまで単線で行われていた授業方法を複線化し、又はオンライン授業とオフライン授業のハイブリッド化によりいかなる環境の変化にも適応しうる教育システムを構築していくことでもある。従って、課題をオンライン授業かオフライン授業かに対比させて課題を捉えていくのではなく、この21世紀の経済・社会・文化のグローバル化社会において、大学は「どうあるべきか」に置き換えて考えてみる良い機会ではないであろうか。

それは、実際にオンライン授業を展開していく場合には、ソフトの面として授業の円滑化を図るために教員補助の TA (Teaching assistants) 等による教員支援体制の整備が不可欠となる。更には、

オンライン授業の円滑化を図るために IT Staff 等の支援体制の整備も必要になってくる。ハードの面においても、学生がオンライン授業を不自由なくキャンパスの施設又は自宅で受講できる学習環境の整備がされていないと不可能となる。また、授業の復習ができるラボラトリー施設設備の整備も必要かもしれない。従って、教育システムの再構築にはソフトの面だけでなく、ハードの面をも取り入れていかなければならず、まさにトータルに考えていく大学改革なのである。

従って、大学が「人手」ではなく「人材」を輩出していく場であるならば、環境の変化に対し「教育研究上の目的」を見直し、それによって「教育課程」、「学生」、「教員組織」及び「教育研究施設設備」等の教育システム構成素の在り方を再検討し、教育システムの再構築をしていかなければならない。大学は「真空」に存在しているのではなく、「環境」に存続していくのであるならば、環境変化における改善の課題を丁寧に分析し、大学の「未来性 (Futurity)」をステークホルダーに保証していかなければならないのではないであろうか。(理事長、伊藤文雄)

2. Accreditation Certificate の発送について

新型コロナウイルスの感染拡大によりインドネシア、マレーシア及びタイ等の東南アジア諸国への国際郵便事情により認証評価証書及び審査報告書の郵送が不可能でしたが、この度、郵送制限の解除により下記大学等に予定の認証評価証書と認証評価審査報告書等の送付を7月16日にすべて完了いたしました。

(APAS)

Faculty of Economics and Business, Universitas Diponegoro, Indonesia

Putra Business School, Malaysia

Arshad Ayub Graduate Business School, Universiti Teknologi MARA, Malaysia

College of Graduate Study in Management, Khon Kaen University, Thailand

Faculty of Business, Economics and Communications, Naresuan University, Thailand

Graduate School of Business and Finance, Waseda University, Japan

(AAAS)

Faculty of Economics and Business, Universitas Airlangga, Indonesia

Faculty of Economics and Business, Universitas Brawijaya, Indonesia

Faculty of Economics and Business, Universitas Lampung, Indonesia

Faculty of Economics and Business, Universitas Padjadjaran, Indonesia

なお、国内の早稲田大学についてはキャンパスの入構が認められたので7月15日に早稲田大学ビジネススクールに下記プログラムの認証評価証書と Good Practice Award-A ABEST21

Accreditation Review Report をお届けいたしました。

- ・ Master of Business Administration
- ・ Master of Science in Finance



3. The online Accreditation Seminar II について

2020年度のAccreditation Seminar Iは、新型コロナウイルスの感染拡大前の2月4日にKuala Lumpurで、6日にジャカルタでそれぞれon-siteで開催されました。しかし、その後のCOVID-19の感染拡大により海外渡航が制限されてきたためにonline Accreditation Seminarに切り替え、個別に各受審校のニーズに応えたOnline Accreditation Seminar IIを下記の日程で実施いたしました。Seminarは時差の関係で15:00-16:00（東京時間）の時間帯で6月16日から7月27日の間で7大学を対象に行われました。このonline Accreditation Seminarで習得した経験知はその後のonline Peer Review Visitの実施に大きな影響を与えました。



4. online PRT Training Seminar の実施について

2020年度認証評価の審査委員の研修会がGroup A~Group Gの7グループに分けて、8月3日から12日にわたり実施されました。特に、online PRVを国際的に実施するための時差調整の問題、限られた時間の有効利用の問題、online PRVの目的の明確化の問題等を、このonline PRT Training Seminarで検証いたしました。Seminarは、東京時間15:00-16:00で行われ、Dr. Danaipong Chetchotosak (Khon Kaen university, Thailand), Dr. Siti Zaleha Sahak (Universiti Teknologi MARA, Malaysia), Dr. Sudarso Kaderi Wiryono (Institut Teknologi Bandung, Indonesia), そして河野広隆客員教授（京都大学）が、それぞれ講師を務められました。



- ・ 8月03日: Group A, 講師 Dr. Danaipong Chetchotsak (Khon Kaen University)
- ・ 8月04日: Group-B, 講師 Dr. Siti Zaleha Sahak (Universiti Teknologi MARA)
- ・ 8月05日: Group-C, 講師 Dr. Danaipong Chetchotsak (Khon Kaen University)
- ・ 8月06日: Group-D, 講師 Dr. Siti Zaleha Sahak (Universiti Teknologi MARA)
- ・ 8月07日: Group-E, 講師 河野広隆客員教授 (京都大学)
- ・ 8月11日: Group-F, 講師 Prof. Dr. Sudarso Kaderi Wiryono (Institut Teknologi Bandung)
- ・ 8月12日: Group-G, 講師 伊藤理事長、

5. online Peer Review Visit の実施について

2020年度認証評価のonline Peer Review Visitが、8月28日から始まりました。事前にonline Accreditation Seminar及びonline PRT Training Seminarを実施したことの経験により混乱なくスムーズに計画通りに行うことができました。このonline PRVは1校につき2日間にわたり行われるもので、10月末までの間に24プログラムについて実施されます。



6. 認証評価基準の改正について

ABEST21e-News No. 103 において報告した認証評価基準の改正については 2020 年度の認証評価委員会で改正案を審議する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大によりオンライン授業が導入されてきたために、現在の認証評価基準 9-8 の見直を行うことにしました。各大学の実施状況等を調査してオンライン授業による教育の質維持向上に関する認証評価基準の体系化を目指した認証評価基準の改定を行うことになりました。

7. 「オンライン教育の質保証事例研究会」の開催について

この度、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大学教育は 3 密を避けるために各大学で遠隔教育を導入せざるを得ない状況に追い込まれてきました。このような状況下において、大学が教育の質維持向上を図るためには、オンライン授業についての事例研究を行いその実態を把握していくことが必要となってきます。この度、各国会員校で実施しているオンライン授業の実態についての事例研究を行い、「教育の質保証」を如何に実現していくかを検討していくことにいたしました。第 1 回オンライン研究会を 10 月下旬に開催する予定です。同研究会への参加希望校は ABEST21 事務局まで申し込んでください。

8. ABEST21 の目指す認証評価について

周知のごとく、ABEST21 の源流は 1994 年 10 月に発足した Global Classroom 国際会議に遡ります。1994 年 10 月 28 日、青山学院大学国際政治経済学部が国内外の 7 大学のビジネススクールの参加を得て、先端的情報通信技術を駆使しての位置、場所、空間を超越したビジネススクール国際合同授業の実現に向けた「グローバル・クラスルーム (Global Classroom) 国際会議」の設立がその始まりです。

その後、2002 年 6 月 28 日開催の「グローバル・クラスルーム国際会議」において、ビジネススクールの教育の質の維持向上を図るために、教員・学生の国際交流をも推進していく「グローバル・ナレッジ・ネットワーク (Global Knowledge Network) 機構」に改組いたしました。そして、更に「グローバル・クラスルーム」教育の質維持向上と教員・学生の国際交流のより一層の推進を図るために、2005 年 7 月 1 日、グローバル・ナレッジ・ネットワーク機構国際会議を THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND SCHOLARSHIP FOR TOMORROW, a 21st century organization (以下「ABEST21」という。)に改組し、下記の Mission Statement を採択して ABEST21 は創設されました。

ABEST21 Mission Statement

"We believe that there are many areas where we can explore and interact in the interest of international cooperation in the XXI century. We will advance business school education on a global basis by encouraging the mutually beneficial collaboration among member institutions. We,

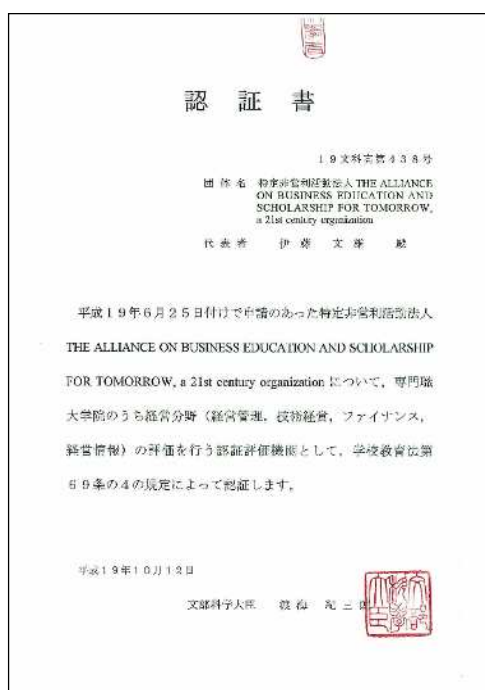


therefore, have come to the conclusion that we shall use our efforts to establish THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND SCHOLARSHIP FOR TOMORROW, a 21st century organization.”

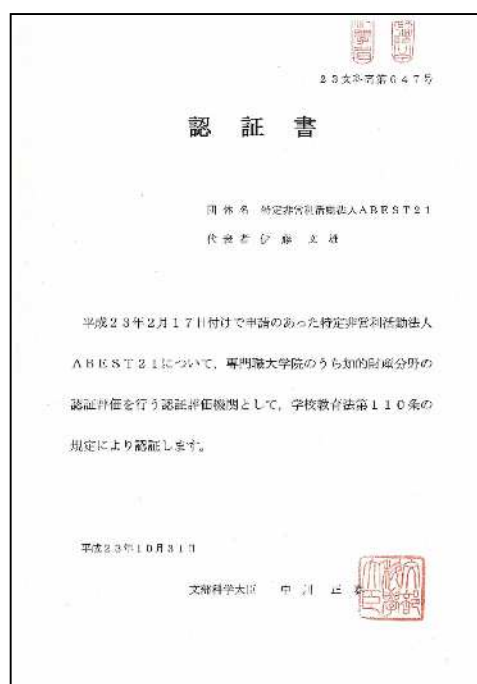
The mission of ABEST21 is to advance education in business schools on a global basis by encouraging the mutual cooperation among its member institutions. The mission can be accomplished through the following goals:

1. Sharing the information on curricular and teaching materials between the member institutions.
2. Promoting joint research projects, joint courses, international symposium and global classroom opportunities.
3. Providing advice and coordination for the member institutions in the research activities and encouraging the members to continually strive to advance the global business education.
4. Facilitating the continuous improvement of the business education through accreditation.

この Mission Statement の採択により、ABEST21 は認証評価活動を行うことになり、2007 年 10 月 12 日に「経営分野」の専門職大学院の分野別認証評価機関として、さらに、2011 年 10 月 31 日には「知的財産分野」の専門職大学院の分野別認証評価機関として、それぞれ文部科学相により認証されました。



経営分野



知的財産分野

ABEST21 の認証評価活動については、2019 年 12 月 18 日、文部科学省中央教育審議会大学分科会「認証評価機関の認証に関する審査委員会」によるヒアリング審査により下記の評価を受けました。

ヒアリング審査結果

- 学業奨励、学生の多様化、教員組織の多様性、産学連携活動や正課外の教育プログラムの状況等についての評価も実施していることは優れている。
- 評価員は国際委員を中心として構成しており、評価員の質向上を図るために各国でセミナーを

開催していることは優れている。

- 評価実施後に受審専攻及び評価員にアンケート調査を実施するなどして、調査を踏まえた評価基準及び評価方法等の適切性の分析及び改善がさらに行われることが期待される。
- 公的な評価を行う評価機関として、評価機関自体の組織に関する情報（財務情報等）について、わかりやすく社会に公表することが期待される。
- 海外大学のアクレディテーション（accreditation）に係る業務と認証評価に係る業務の経理を区分する際には、個別費用と共通費用の考え方について整理するなど、適切な管理運営がなされることが期待される。

以上の経緯から ABEST21 は Peer Review による認証評価活動に心がけ、この環境変化の社会における大学の「教育の質保証」をする国際的認証評価機関として歩んできています。ABEST21 が、“Assessing Today for Tomorrow”をモットーとして認証評価をしているのは、加速度的に進展していくグローバル化社会における「明日の大学」づくりが必要だからです。

III. Quality Improvement: “Enriching Global Knowledge Network”

1. Introduction of the new Deans

Dean Prof. Dr. TAKEHARA Hitoshi

Graduate School of Business and Finance, Waseda University, Tokyo, Japan

Hitoshi Takehara, a professor of finance and former associate dean of academic affairs, has been appointed as the dean of the Graduate School of Business and Finance (Waseda Business School), effective September 21st, 2020.

Professor Takehara received his Ph.D. in Management Science and Engineering from the University of Tsukuba. After working at the MTB Investment Technology Institute (current Mitsubishi UFJ Trust Investment Technology Institute) as a researcher, he started his academic career as an assistant professor at the Institute of Socio-Economic Planning, University of Tsukuba. Since 2006, he has



been a professor at the Waseda University Graduate School of Business and Finance. Professor Takehara’s main research interest is asset pricing models and portfolio management. He was appointed the president of the Nippon Finance Association from 2010 to 2014. In 2016, he received the 59th Nikkei Prize for Excellent Books in Economic Science.

Over the last decade, Megumi Suto, Professor Emeritus of Waseda University, and Professor Takehara have been actively engaged in CSR and ESG research on Japanese firms. The culmination of their series of research is the book “*Corporate Social Responsibility and Corporate Finance in Japan*,” published by Springer in 2018.

Dean Efa Yonnedi, Ph.D.

Faculty of Economics of Universitas Andalas, Indonesia

I am Efa Yonnedi, the new Dean of Faculty of Economics of Universitas Andalas. The Faculty has encompassed a wide range of study programs in accounting, business, management and economics during the last 63 years. I am amazed by the energy and excitement permeating this institution which is reflected by the faculty members, students, alumni, staff, and friends I have been working with.

This is not business as usual. The COVID-19 situation has evolved further and we are dealing with a significant global challenge. It is an exciting task to be the Dean in this unique time of challenges. I have emphasized our focus during this crisis of global pandemic to our people. First, the safety of all of our staff is paramount. We can only make positive contributions and realize our purpose and values if we stay healthy and avoid spreading the virus. Second, learning, education and research continuity is our priority. We need to focus our efforts and invest more in e-learning.

We want to continue making the investments in research, education, people, and programs that are necessary to maintain the standard of excellence for which we want to be more recognized nationally and globally. To maintain our high academic standards in this ever-changing environment, we must invest more in teaching, research, case studies, and course development.

This Faculty has been recognized in Indonesia as a symbol of quality, producing research and graduating leaders who have an important effect on the government and business world. It was this reputation that attracted prospective students to the Faculty. To maintain it, we need to keep up the tradition of intellectual engagement, innovate and create more impact to the government, society and business world. Our ambition is to improve the quality of education, increase the productivity of research and publications and serve the community in which we are more relevant to the society, the government and the industry.

To my respected colleagues, it will be great to know your school and faculty, and I hope for more fruitful collaboration in the near future.



2. Progress Report of the International Joint Research Project 8 "Humanizing Management Education for Sustainable Economic Development"

1) The 2nd online meeting

Date: July 4, 2020

Time: 17:00-18:00 (Kuala Lumpur time)

Participants:

Prof. Emeritus Dr. ITOH Fumio, ABEST21

Dr. Alfah Salleh, Human Governance Institute Inc.

Prof. Dr. Ming Yu Cheng, Universiti Tunku Abdul Rahman, Malaysia

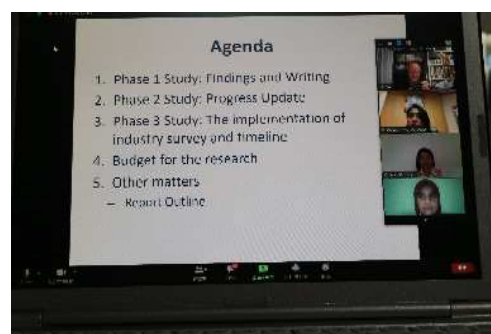
Prof. Dr. Qin Hai Ma, Northeastern University, China

Dr. Rapeeporn Srijumpa, Burapha University, Thailand

Dr. Riani Rachmawati, Universitas Indonesia, Indonesia

Report by Co-ordinator Prof. Dr. Ming Yu Cheng, UTAR, Malaysia

The research team met on July 4, 2020 for online meeting via Zoom to discuss the research activities for the project "*Humanizing Management Education for Sustainable Economic Development*". The meeting was attended by President Fumio Itoh (Japan), Prof. Arfah Salleh and Prof. Cheng Ming Yu (Malaysia), Dr. Riani Rachmawati (Indonesia), Dr. Rapeeporn Srijumpa (Thailand), and Prof. Ma Qin Hai (China).



The research team had initiated the research activity in September 2019 with Phase 1 study to collect feedback from ABEST21 member schools on humanizing practices in respective institution. A total of 35 responses were collected from Indonesia, Malaysia, Japan, Thailand, China and Singapore. The data were analyzed and the preliminary findings were discussed in the meeting. Generally, humanizing is considered an important quality to develop in all educational programs, not limited to business management education.

The content analysis will be conducted based on the information extracted from the Self-Check Report to examine the approaches taken by ABEST21 members on humanizing practices. The meeting also discussed the preparation for Phase 3 study which aims to collect stakeholders' viewpoints on the meaning and importance of humanizing education.

2) The 3rd online meeting

Date: August 15, 2020

Time: 10:00-11:00 (Kuala Lumpur time)

Report by Prof. Dr. Ming Yu Cheng

The 3rd research meeting was conducted via Zoom on August 15, 2020 for the research team to update the progress of the project "*Humanizing Management Education for Sustainable Economic Development*". President Fumio Itoh (Japan), Prof. Dr. Cheng Ming Yu (Malaysia), Dr. Riani Rachmawati (Indonesia), Dr. Rapeeporn Srijumpa (Thailand), and Prof. Dr. Ma Qin Hai (China) attended the meeting.



Phase 1 study involves the collection of feedback from ABEST21 member schools on humanizing practices via survey questionnaire. The team has analyzed 35 responses collected from Indonesia, Malaysia, Japan, Thailand, China and Singapore, and will proceed with the discussion of research findings.

The humanizing practices implemented by the member schools were extracted from 33 Self-Check Reports (SCRs) for the period from 2016 to 2019. Content analysis will be conducted to identify the trends and practices among ABEST21 schools. The analysis will focus on key aspects such as the purpose of education, the influence of local culture and globalization on humanizing practices, and expected values to be cultivated from business education. Questions related to the nature of human and the role of human in society were discussed.

The Phase 3 study aims to collect stakeholders' understanding of humanization in business

management education and to gather their perceptions of the importance of humanizing education and its relation with Sustainable Development Goals (SDGs). Discussions and interviews with alumni, students and companies will be conducted.

3. Local News

1) Universitas Brawijaya Rector granted the Best Faculty Award to FEB-UB

Universitas Brawijaya ranks 3rd in the list of Top Universities in Indonesia. During the Celebration of 75th Independence Day, UB Rector granted FEB (Dean Nurkholis, Ph.D.) an award for best faculty with international accreditation and international exposure.

2) Universitas Indonesia Vocational Study Programs

"Four of UI Vocational Study Programs Offer Graduates to Be Ready to Face the Creative Industry" Responding to the need for human resources for the rapidly growing creative industry, University of Indonesia (UI) through the UI Vocational Education Program presents several options for intermediate expert level study programs (D3). The four study programs mentioned are Creative Advertising, Public Relations, Multimedia Broadcasting and Tourism. Students in these four study programs will study a number of aspects that are important in the creative industry sub-sector such as design, videography, photography, television and radio, advertising, and cultural arts. Besides being based on unlimited creativity and creation, creative industry sector also offers big opportunities for fresh graduates in Indonesia. Therefore, Vocational UI will support the students by providing excellent teaching staff, qualified supporting facilities, and several collaboration agreements with industry, government, and strong communities. The decision of Universitas Indonesia is aligned with the discussion held at "The 3rd Indonesia Council for Nurturing Global Management Professionals" arranged by ABEST21 in University of Indonesia on February 7th. As one speaker has stated, the company needs for MBA students who can work in Business Development to meet the demand for collaboration of education and industry is increasing in Indonesia. Each corporation needs an innovator who is capable of building and competing in the business industry in Indonesia.

Source: Kompas news. Ayunda Pininta Kasih, (2020/07/07),"4 Prodi Vokasi UI Tawarkan Lulusan Siap Hadapi Industri Kreatif", Retrieved from

<https://edukasi.kompas.com/read/2020/07/07/122217471/4-prodi-vokasi-ui-tawarkan-lulusan-siap-hadapiindustri-kreatif>.